

麦の穂学園 運営方針

基本方針

カトリック精神である隣人愛に基づき、子どもへの愛情を共感、あたたかいふれあいを通して自己肯定感を育み、子ども自らが未来を創る担い手となるよう養育・教育・療育をすすめます。

平成 30 年度主要方針

「思いやりを大切にする」

平成 29 年度の麦の穂学園は「信頼を大切にする」ということを目標に掲げ、子ども同士、子どもと職員、職員同士が相互理解をしていくように努めました。平成 30 年度は「思いやりを大切にする」を目標に掲げ、麦の穂の一人ひとりが、心身ともに健康で、周囲の人と信頼関係が築けるよう意欲的な取り組みをしていきたいと思えます。子どもに寄り添い、言葉の受け止めを大事にし、職員が子どもに受け入れられる関係を構築していきながら、子ども自身が自信をもって生活に取り組めるように支援していきます。

平成 30 年度事業計画

1. 子どもの主体的な成長を支援していきます。

- ・ 個別的な関わりを大切にし、子どもの言葉に耳を傾け気持ちに寄り添い、子どもの願いや意志の実現にむけ、適切な支援を行っていきます。
- ・ 集団生活において、子どもが安心して生活できるように、より良い人間関係のあり方や豊かな生活環境を子どもたちと一緒に話し合い考え、実現にむけ適切な支援を行っていきます。
- ・ 性（生）という課題を、子ども同士、子どもと職員、職員同士が生活の中で自然に語り合い、適切な認識や人間関係、行動につなげていけるよう、職員全体で取り組んでいきます。
- ・ 子どもが安心して自分の生い立ちを見つめ、自己肯定感＝自信＝安心した生活を送ることができるよう、ケースカンファレンスや LSW、かがやきとの連携等、“つながりある養育”を丁寧に行っていきます。

2. 人材の確保と職員育成に努め、働きやすい職場づくりに努めます。

- ・ 個人の努力を麦の穂全体の力の向上と法人の取り組みの充実につなげるようにする。職員一人ひとりが意欲を持って取り組めるようチーム作りを行っていきます。
- ・ 全職員が職員確保を意識し、実習のあり方、指導内容等を検討し、児童養護施設の魅力を伝えていきます。
- ・ 個別面接を充実させ、職員が語れる場を大切にす。同時に期待する役割を明確に伝え、責任感と達成感を育み、職員自身が成長できるように行っていきます。
- ・ 会議・ミーティング、行事等を通して、職員全体が OJT の視点を持ち「育成」を意識した意見交換の機会を大切にし関係を深めていけるようにしていきます。

3. 小規模化（個別対応）に向けた取り組みの検討をしていきます。

- ・ 家庭的養護推進計画の見直しに伴う、児童養護施設のあり方を鑑み、麦の穂学園としての小規模のあり方（地域分散型、ユニット形式等）を検討していきます。
- ・ 家庭的養護推進計画の見直しに伴う、個別対応を重視した里親との連携を鑑み、麦の穂学園としての里親連携を深めていけるよう、かがやきや子ども家庭支援センターと協働していきます。
- ・ 小規模化を見据えた職員育成を検討していきます。
- ・ 現存の「さくらんぼ」の改修工事を見立てた計画案を検討していきます。